

第10回 心を育てる地域と世代部会

【摘録】



日時：平成25年9月26日(火)18:15~20:25

場所：宮前区役所4階第2会議室

【進行：大槻部会長】

1 出席確認

欠席委員：なし

2 「風の泉」について

メンバーの川西さん、久保さんから活動の現況、課題等を伺った。

区民会議提案としての支援の方向性・メニューの検討を行った。

→別紙のとおり意見集約

3 具体的な提案の検討

提案・申し送り事項ごとに報告書を意識したシート形式でまとめた資料を基に、各提案の詳細について意見交換意見交換→別紙のとおり意見集約

4 今後のスケジュールについて

第11回 10月16日(水) 18時15分~20時15分 区役所4階第1会議室

テーマ：心を育てる地域・世代間交流

「風の泉」ヒヤリング（川西さん・久保さん）

活動の現況・支援ニーズなど

- ・風の泉中心の運営から、保護者らによる地域自主運営への移行例が見られ始めた。
- ・学校と地域拠点での両方の展開、地域に根差した自主運営を目指す。
- ・普段は学校で実施するが、夏休みにアリーナで開催した際は、地域が独自に活動する展開に可能性を感じた。
- ・保護者以外の地域ボランティアの確保や募集の声掛けに苦労している。
- ・地域の高齢者施設や教育関係団体、市民活動団体との連携も視野にいれる。

部会提案について具体的な内容の検討

提案① 「風の泉」九九暗唱学習支援活動の支援

- 地域のボランティア募集、自主運営体制の確保や立ち上げ、地域内の他団体との連携につながる広報・働きかけ支援。
例：市政だより・回覧等の活用
- 「風の泉」以外の世代間交流に資する市民活動の発掘も課題だ（平井）
- 地域や団体の自主性を踏まえながら、対象団体と調整しながら、区民会議でできる支援を考えていく。（直本・田浪ほか）

提案② 世代交流を推進するキャンペーンの展開

- 地域の様々な人と出会うことで心やコミュニティが豊かになることを伝えたい。（大槻、平井）
- キャッチフレーズはリズムの良いものが良い。5・7・5など。例：つながろう 知ろう・語ろう・みやまえ区（豊島）
- 「宮前兄弟」に赤ちゃんやおじいちゃんおばあちゃんなど加えて「宮前家族」に。手をつなぐイメージを（豊島・直本）
- 毎年区民祭を核に展開。既存の活動やイベントを登録し、各活動の体験を促すスタンプ制などを取り入れる。（宮崎、直本、田浪ほか）
- 既存のイベントに世代交流の要素を加えるなど新しい試みも推進したい（豊島、平井、田浪）
- 参加へのインセンティブをどう創出するか。活動や連携しやすくなるように（大槻・山下ほか）

提案③ 世代間で交流する対話の場を企画

- 「役に立つ○○体験」として、様々な体験を共有、話し合う場を企画してはどうか（直本）
- 宮前かるたを活用して、札に取り上げられている郷土史を体験・共有する。担い手も関連活動団体に依頼する。昨年度のフォーラムでカルタは非常に盛り上がった。（豊島、太田ほか）